



オープン・セッション発表者募集
国際図書館連盟(IFLA)美術図書館分科会

現代は私たちにとって保存に値するものだ——1960 年以降の社会変革に関わるアートの記録

第 83 回国際図書館連盟ヴロツワフ大会、2017 年 8 月 19～25 日、ヴロツワフ(ポーランド)

過去半世紀以上もの間、世界のアーティストたちは社会に変革をもたらすために視覚文化を活用してきた。アートが議論を起こし、文化的態度を変質させる力を持つことは明らかである。そうしたアート作品をめぐる、歴史的に重要でかつ超領域的な意味で興味深いこの分野は、困難な課題を図書館に突きつけてきた。本質的に反体制活動的なアートは、社会規範や美の基準だけではなく伝統的なドキュメンテーション活動に対しても挑戦的である。人種問題、公正労働、HIV とエイズ、ジェンダーといった社会問題は強い感情や考えを人々に喚起した。こうした問題に向けられた挑発的なアートは間違いなく人々の感情を害するものであり、関わりを持つ機関が優先的に扱うことを難しくさせている。活動家のアーティストが用いる落書き、介入(インターベンション)、パフォーマンス、ウェブ・アートといった非伝統的あるいは脆弱なメディアは従来の収集手法を寄せつけない。

2017 年開催予定の国際図書館連盟ヴロツワフ大会(ポーランド)において、美術図書館分科会と社会科学図書館分科会は、アートの実践と社会行動との交差点にあるモダン・アート、コンテンポラリー・アートの記録という問題について国際的視点から展望する合同セッションを開催します。社会活動家によるアート(アクティビスト・アート)の重要なリポジトリ、ドキュメンテーション手法の革新、このほか検閲・著作権の問題から文化遺産の越境にいたるまでの幅広い関心事のいずれかについて論じる発表者を募集します。アクティビスト・アートという言葉はここでは広義の概念として用いられ、あらゆるメディア、あらゆる伝統的・非伝統的なアートを包含することを意図しています。とりわけヨーロッパや北米以外の観点から論じる発表原稿などは奨励されます。

そのほか詳細は下記のページをご覧ください。

<http://2017.ifla.org/cfp-calls/art-libraries-section-joint-with-social-science-libraries-section>

応募期限:2017 年 3 月 1 日

応募先:

Sandra Ludig Brooke, Chair of the IFLA Art Libraries Section

Email: sbrooke@princeton.edu